

### (3) じゃがいも (ばれいしょ)

#### ア 各病害虫の防除

疫病

黒あざ病

そうか病 (亀の甲症等)

ウイルスによる病気

アブラムシ類

テントウムシダマシ (ニジュウヤホシテントウ、オオニジュウヤホシテントウ)

ハリガネムシ類 (コメツキムシ類幼虫)

ハスモンヨトウ

ヨトウムシ

## ア 各病害虫の防除

### 【留意事項】

(□は総合防除計画に掲載している病害虫)

### 疫病

---

(耕種的・物理的防除)

- 1 健全な種いもを植付ける。
- 2 窒素の過多を避ける。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 開花期頃から7～10日おきに散布する
- ※多雨の年には散布間隔を短くし、降雨前、降雨後にも散布する。

### 黒あざ病

---

(耕種的・物理的防除)

- 1 健全な種いもを選ぶ。
- 2 イネ科作物を3年間作り、輪作する。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 伝染源である種いも上の菌核を防除するため、薬剤で種いもを消毒する。

### そうか病（亀の甲症等）

---

(耕種的・物理的防除)

- 1 健全な種いもを選ぶ。
  - 2 アルカリ性土壌では酸性肥料を施用してpH5.5～6.0にする。
  - 3 緑肥（イネ科作物）を輪作する。
- ※放線菌による土壌病害で高地温、高pH、乾燥条件下で発生しやすい。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 種いもに薬剤を処理する。
  - 2 植付時、土壌に薬剤を施用する。
  - 3 前作の被害が甚大でマルチ栽培の場合は、土壌消毒する([共通防除の章の資材・苗床・本ぼの消毒の項](#)を参照)。
- ※コサイドボルドーは萌芽した種いもには薬害を生ずるので使用しない。

### ウイルスによる病気

---

(耕種的・物理的防除)

- 1 種いもは検査に合格したものを使う。

### アブラムシ類

---

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 気門封鎖剤を散布する。
- 2 発生初期に散布する。

### テントウムシダマシ（ニジュウヤホシテントウ、オオニジュウヤホシテントウ）

---

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 発生初期に薬剤を約10日おきに数回散布する。

### ハリガネムシ類（コメツキムシ類幼虫）

---

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 土壌消毒する([共通防除の章の資材・苗床・本ぼの消毒の項](#)を参照)。

## ハスモンヨトウ

---

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 生物農薬は予防的に散布する。
- 2 幼虫が小さいうちに薬剤を散布する。

## ヨトウムシ

---

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 生物農薬は予防的に散布する。
- 2 幼虫が小さいうちに薬剤を散布する。